

結いだより



鎌倉投信
KAMAKURA TOUSHIN

2022年2月4日発行
第143号

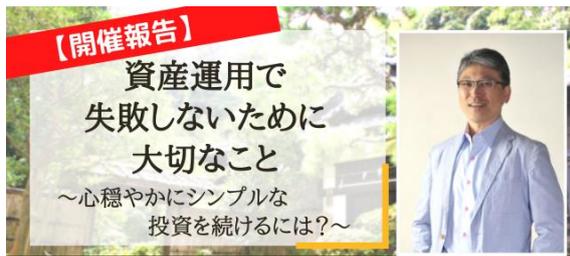
今月のトピックス

- 【開催報告】新春セミナー — 2P
- 運用報告（資産形成）足元の運用状況について — 2P
- 【告知】「いい会社」の経営者講演（亀田製菓） — 3P
- 赤ちゃんの命を守るピジョンの取り組み — 6P
- 「投信ブロガーが選ぶ！ Fund of the Year 2021」受賞のお知らせ — 7P
- 運用コラム 東証再編について — 8P

本社の河津桜が咲きました



【開催報告】新春セミナー 資産運用で失敗しないために大切なこと ～心穏やかにシンプルな投資を続けるには？



1月15日（土）に新春セミナーをオンライン開催しました。1100名以上の方に申込みいただき、当日は大変盛り上がりしました。

本セミナーでは、誰でも実践できる資産運用の「成功の鍵」を7つお伝えしました。

今回は、お客さまからいただいた催しの感想を紹介します。

■ 開催後のアンケートより

私は元銀行員で約50年間金融の世界に身を置いてきましたが、その期間に学んだ投資に関する知見を短時間で明解に解説いただいたと感心しています。

息子などにも是非、聴かせたいので後日、動画や資料を公開していただけると有難いです。(60代 男性)

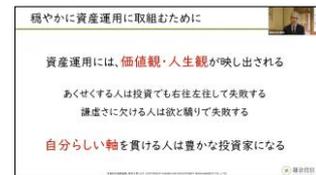
鎌田社長の不変の投資哲学をお聞かせいただき、深い納得感を得て気持ちが晴れ晴れしました。

投資活動の中で、こうした気持ちになれることは稀で、貴社ファンドの受益者であることを誇りに思います。新春の催しにふさわしい内容でした。(50代 女性)

■ 収録動画の掲載

収録動画を掲載しています。

「[My鎌倉倶楽部](#)」より視聴ください。



「結い 2101」運用報告

資産形成



鎌倉投信が定義する「投資の果実」は、

「資産形成×社会形成×豊かなこころの形成」です。

こころの形成については個人によって異なるため、この運用報告では、投資の果実としての**「資産形成」と「社会形成」**について報告します。

1月の日本株式市場

1月の日本株式市場は下落しました。米国の金融政策における急速な引締め観測から米国株式市場が下落したことに加え、ウクライナ情勢を巡る地政学的リスクの高まりや、国内での新型コロナウィルス感染者増加などへの警戒感から日本株式市場は下落基調に終始しました。

TOPIX（東証株価指数）は前月末比で4.8%下落しました。業種別では、鉱業、保険業、非鉄金属などが上昇した一方、電気機器、サービス業、精密機器などが下落しました。

1月の「結い 2101」

「結い 2101」の1月の基準価額は、前月末比で6.0%下落し、19,523円となりました。持続的な業績拡大が期待された「アマタホールディングス」や、市場予想を上回る決算内容が好感された「マニー」等が上昇した一方、株価指標面での割高感が意識された「LITALICO」や、新規の保険契約獲得ペースの鈍化が嫌気された「ライフネット生命保険」等が下落しました。

投資行動では、1月末時点の「結い 2101」の組入会社数は、新規組入をおこなわなかったことから前月末と変わらず、67社です。株式組入比率は、株式相場下落を受け、前月末から低下し、61.9%となりました。債券組入比率は、株式相場下落による純資産総額の減少にともない、前月末から小幅に上昇し、2.3%となりました。

足元の運用状況について

年初来の「結い 2101」の基準価額下落により、受益者の皆様にはご心配をおかけしています。以下では、日本株式市場と「結い 2101」の下落要因を説明します。

■ 年初来の投資環境について

年初来の日本株式市場の下落は、米国の金融政策の正常化に向けたプロセスが市場参加者の想定よりも前倒して実施されるとの思惑から、米国長期金利が上昇したことに起因します。

→次項へつづく



一般的に株価は、企業が将来生み出すと予想されるキャッシュフローを割引率で現在価値に引き直したものと考えられています。割引率のベースとなる長期金利が上昇することによって、特に、成長期待の大きい企業の現在価値が目減りし、株価の下落圧力となりました。長期金利の上昇による米国株式市場の動揺が世界的に波及し、日本株式市場においても、成長期待の高い銘柄群が大きな影響を受け、1月のTOPIX Small（小型株指数）は前月末比で-6.3%、成長が期待される新興市場の指標である東証マザーズ指数は同-23.3%となり、その下落率はTOPIXの-4.8%を上回りました。

■ 「結い 2101」について

「結い 2101」は独自の視点で「いい会社」を選別投資した結果、小型株および成長株の構成比率が相対的に高くなっています（図表1）。小型成長株の構成比率が高いポートフォリオの「結い 2101」においては、これら株式銘柄選択の特性が影響したと考えています。

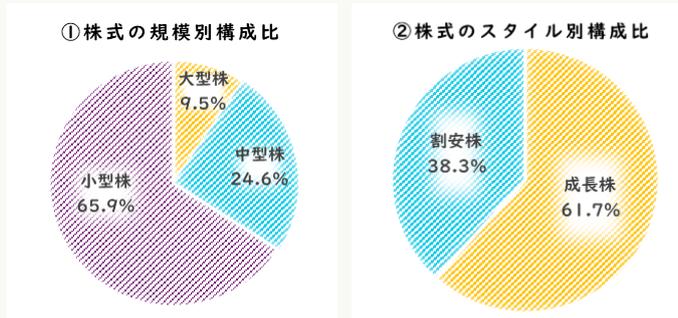
「結い 2101」は、現金比率を調整（≒株式の組入比率を調整）することや銘柄分散で基準価額の変動リスク（標準偏差）を年率10%以内に抑えつつ、長期的に年率5%（信託報酬控除後で年率4%）の安定した運用成果の獲得を目指しています。

鎌倉投信において投資先の企業価値としてモニターしている「配当込純資産成長率」では企業価値が着実に増加していることが確認できます（図表2）。短期的には、外部環境の変化などがパフォーマンスに影響し、リターンがマイナスとなることもあります。長期的には、投資先企業の企業価値に見合ったリターンを獲得できると考えています。

引き続き、お客様から託された資産の長期的な成長と、社会の持続的発展の両立のため、安定運用に努めていきます。（資産運用部 五十嵐）



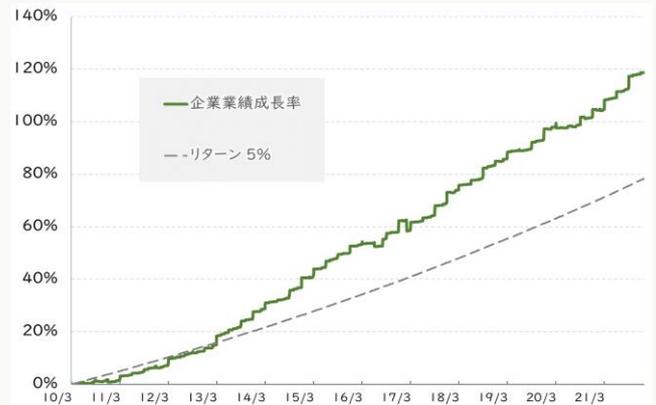
(図表1) 「結い 2101」のポートフォリオ特性
基準日: 2022年1月31日



株式時価総額5,000億円以上の銘柄を大型株、時価総額1,000億円以上の銘柄を中型株、時価総額1,000億円未満の銘柄を小型株としています。

株式の内、TOPIXの純資産倍率(PBR)を上回る銘柄を成長株、以下の銘柄を割安株としています。

(図表2) 投資先企業の配当込み純資産成長率



・企業業績成長率は、「結い 2101」で投資している上場企業全体の会計上の純資産と配当金額を合わせた額の増加率を累積した値です。
・リターン5%は、「結い 2101」の目標リターン(信託報酬控除前)です。



— オンライン開催 —
「いい会社」の経営者講演（亀田製菓）～まだ見ぬお米の力、世界へ発信～

亀田製菓さんで食品事業を率いるジュネジャ副社長をお招きします。

同社といえば、「亀田の柿の種」など、米菓を思い浮かべる方も多いと思います。近年は、“あられ、おせんべいの製菓業”から“Better For You の食品業”へと進化し、「グローバル・フード・カンパニー」となることを目標に掲げ、食を通じた社会課題の解決に挑戦しています。亀田製菓さんが描く未来に、ともにワクワクしましょう！



亀田製菓（株）
代表取締役副社長
ジュネジャ・レカ・ラジュ氏

<概要>

日時：

3月10日（木）19:00-20:30

対象：

受益者とそのご家族

詳細は[こちら](#)





「結い 2101」運用状況(月次)

基準日:2022年1月末日

運用方針

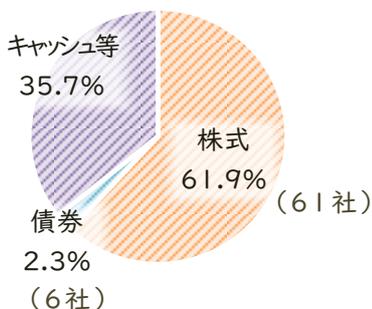
「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用をおこなうことを基本とします。

- これからの日本に必要とされる企業
- 顧客・消費者、社員とその家族、取引先、地域、自然・環境、株主等を大切に、**持続的で豊かな社会**を醸成できる企業
- **優れた企業文化**を持ち、**人財**を活かす企業
- **循環型社会**を創る企業
- **日本の匠な技術、感動的なサービス**を提供する企業

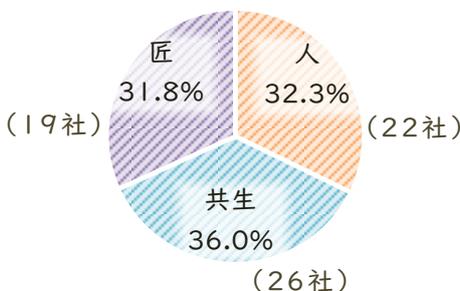


信託財産の状況(比率は時価ベース)

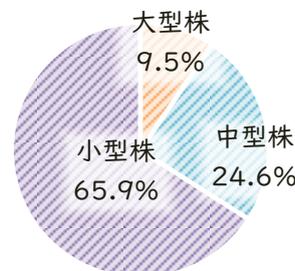
ポートフォリオの資産構成比



投資先のテーマ別構成比

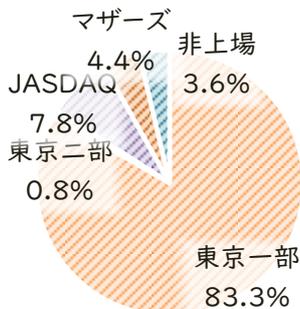


株式の規模別構成比

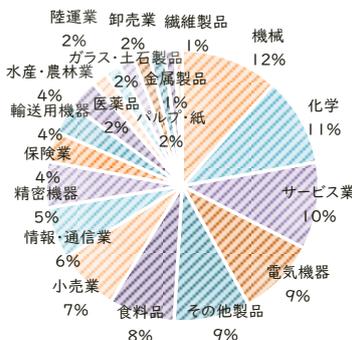


株式の内、時価総額5,000億円以上の銘柄を大型株、時価総額1,000億円以上の銘柄を中型株、時価総額が1,000億円未満の銘柄を小型株としています。

有価証券の市場別構成比



投資先の業種別構成比



開示基準に達した 新規投資銘柄の開示 (2022年1月末時点)

現在、未開示の投資先はありません。

投資先企業上位10社

コード	会社名	テーマ	純資産 総額比	鎌倉投信の視点
6823	リオン	匠	1.3%	聴こえの不自由な人へ音を届ける、いい会社
2220	亀田製菓	共生	1.2%	家族みんなが働く、いい会社
4967	小林製菓	人	1.2%	モチベーションが高く、発想力が具現化する、いい会社
4923	コタ	人	1.2%	いい会社を目指し続ける、いい会社
8715	アニコムホールディングス	人	1.2%	理念を大切にしている、いい会社
7839	SHOEI	人	1.2%	契約社員がやる気を出せる、いい会社
7730	マニー	匠	1.2%	やらないことを明確にしている、いい会社
6455	モリタホールディングス	匠	1.2%	消防技術で安全な社会づくりに貢献する、いい会社
1379	ホクト	共生	1.2%	地産地消を推進する、いい会社
7947	エフピコ	人	1.2%	障害者がメインストリームで働く、いい会社



投資先の「いい会社」



各「いい会社」への投資理由等は、鎌倉投信のホームページで紹介しています。
『鎌倉投信 いい会社』で検索!
是非ご覧ください♪

<https://www.kamakuraim.jp/document/the-company-finder/>

等金額投資をしているため基本的に投資先の構成比は同一ですが、時価変動等により基準構成比を大きく上回っていないかを確認するための参考として組入上位10社を表示しています。



「結い2101」運用状況(月次)

基準日:2022年1月末日

概況

基準価額 19,523円

基準価額とは、投資信託の純資産総額を総口数で割ったもので、1万口あたりの時価(評価額)で表示します。基準価額は主に、組み入れ有価証券等の価格の上下動によって変動します。

純資産総額 45,289百万円

純資産総額とは、投資信託の信託財産を時価で評価した資産総額から負債総額を控除した金額のことです。この純資産総額は主に、①皆様の設定解約と②組み入れ会社の株価等の上下動によって変動します。※純資産総額の百万円未満は切り捨てて表示しています。

顧客数 21,787人

うち「定期定額購入」を選択されている顧客数 11,385人



運用パフォーマンス

基準価額の推移



運用成績

リターン	
1カ月	-6.0%
1年	-6.6%
3年	8.1%
5年	18.4%
設定来	102.3%
年率換算(5年)	
リターン	3.5% (A)
リスク	9.8% (B)
シャープレシオ 年率換算(5年)	
リターン÷リスク	0.4 (A)÷(B)

- 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い2101」の信託報酬率1.10%(年率・税込)を控除後のものです。
- 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- 「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった(=収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した)ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社が算出しています。

- リターン・リスクは、支払済み収益分配金(税引前)を再投資した場合の分配金込の数値です。実際の個別のお客様の収益率とは異なります。
- 年率換算(5年)のリターンとは、直近5年間の収益分配金込基準価額の騰落率を年率換算で表示したものです。
- 年率換算(5年)のリスクとは、直近5年間の収益分配金込基準価額の日次騰落率の1標準偏差を年率換算で表示したものです。
- シャープレシオ 年率換算(5年)とは、年率換算(5年)のリターンの値を年率換算(5年)のリスクの値で除したものです。リスク1単位あたりのリターンの大きさを表し、一般的に、運用の効率性を測ることができるといわれています。

各年の収益率



収益分配金の実績

収益分配金とは、ファンド決算の際に、運用を通じて得た収益の一部をお客様に分配するものです。分配をおこなった場合は、決算日の基準価額が1万口あたり分配金額だけ下がります。「結い2101」は自動的に分配金相当額を分配後の基準価額で再投資する仕組み(分配再投資専用)になっています。

第4期	2013年7月19日	500円
...		
第10期	2019年7月19日	0円
第11期	2020年7月20日	0円
第12期	2021年7月19日	0円
設定来合計		500円

- 「結い2101」はTOPIX等をベンチマークとした運用ではありませんが、国内株式市場との連動性の程度を確認するため、参考としてTOPIX指数の収益率を掲載しています。
- 青色のグラフは、各年内の基準価額の最大値(年初来高値、日次ベース)、最小値(年初来安値、日次ベース)、および各年末の基準価額を、各前年末の基準価額と比較した場合の収益率を表しています。
- 黄色のグラフは、各年内のTOPIXの最大値(年初来高値、日次ベース)、最小値(年初来安値、日次ベース)、および各年末のTOPIXを、各前年末のTOPIXと比較した場合の収益率を表しています。

- 分配金額は1万口あたりの金額です。
- 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。



第12回「結い 2101」受益者総会 トークセッションより

pigeon ~赤ちゃんの命を守るピジョンの取り組み~

昨年の9月25日(土)、第12回「結い 2101」受益者総会(R)「未来と結ぶ、想いの軌跡~10分の1を超えて~」を開催しました。様々な企画の中で、ピジョン社員の手塚様をお招きして「赤ちゃんの命を守る活動」について話を伺った「いい会社」トークセッションの様相を紹介します。

ピジョンについておさらい

ピジョンといえば、哺乳瓶が日本、グローバルともにシェアトップで有名です。また、哺乳瓶以外の商品も世界70ヶ国以上で愛用されています。

経営理念は「愛」。赤ちゃんを優先した活動に取り組んでおり、鎌倉投信は、「経済性と社会性の両立」を体現していると考え、注目しています。

ちいさな産声サポートプロジェクト

早産・低体重で生まれた、専門的なケアが必要、といった赤ちゃんと家族向けの支援活動です。主な活動の1つに「母乳バンク支援」があります。これが今回のトークセッションの本題です！

母乳バンク支援

母乳バンクは、たくさんのお母さんから寄付された母乳を、国際的な運営基準に基づき「ドナーミルク」として安全に処理します。そして、早産・低体重で生まれた赤ちゃんが自分のお母さんから母乳を得られない場合に、医療機関からの要請に応じて「ドナーミルク」を提供する施設です。

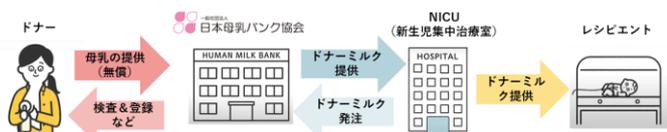
1) なぜ、ピジョンが母乳バンクを

支援するのか

早産や小さく生まれた赤ちゃんにとって、母乳は身を守るための“薬”のようなものといえます。

例えば、小さな赤ちゃんがかかりやすい壊死性腸炎の罹患率が、ドナーミルクの場合、人工乳と比べて1/3に低下するそうです。また、疾患の長期的予後を改善する効果もあるとされています。

一方で、赤ちゃんが自分のお母さんの母乳を飲めない、という状況に陥る様々なケースがあります。特に早産の場合には、お母さんの乳腺の発達が途中で止まってしまうことがあります。2019年当時、日本の母乳バンクは1軒のみで、施設が圧倒的に不足していました。ピジョンは2020年にゴールドスポンサーとして支援を始めました。



2) ピジョンだからこそできる支援、とは



まずピジョンが全面的に支援したのが、「日本橋母乳バンク」の開設です。フル稼働すれば、日本で必要な分の1/3はまかなえることになります。

さらに、ピジョンは母乳バンクの施設を作るだけでなく、仕組みが確立するための包括的な支援が必要だと考えています。例えば、認知度を高めるために、主力商品に「母乳バンク」の紹介を入れたり、より多くの病院で安全に「ドナーミルク」を使用してもらえるよう、医療従事者向けカンファレンスの開催をサポートしたり…。

このように事業での接点を活用することが、ピジョンにしかできない支援の形です。

ピジョンの支援の形



ゴールドスポンサーとして、日本における母乳バンク普及のため、今後も包括的な支援を継続していきます。

3) 母乳バンクの普及に向けて

母乳バンクの課題は認知度が低いことですが、日本橋母乳バンクの開設後、ドナー登録をしたいという申し出が殺到したことは驚いたようです。

→次項へつづく



「母乳バンクに参加しようと思ったきっかけはわが子が5月に超未熟児で誕生したことです。(略)命を助けてもらったので、私も何か微力ながら命を助けるお手伝いができないものかと思い、ここに辿り着きました」

「(略)もっと知ってほしいので、母乳育児のママ友にも知らせています。皆、意外と『知らない！なにそれ!』と口々に言っています」

といった声が、ドナーの方々から寄せられました。



母乳バンク2020年度の実績

- 提携病院も22施設から36施設に増加。ドナーミルクを使用した赤ちゃんは203人。
- ドナー登録をしたいというママの申し出が殺到。2020年度は前年の7倍近い登録。



©Pigeon Corporation All Rights Reserved



2

進行役後記

このような様々な活動に消費者が共感し、ピジョンブランドを選ぶとSNSでコメントがあったそうです。企業価値の向上に繋がる相乗効果で、まさに「経済性と社会性の両立」の好事例だと考えます。

今回お話を伺ったピジョンの手塚様は、事前の打ち合わせで「“赤ちゃんの命を救う”ことは、その周りにいる両親や、常に赤ちゃんの安全を気にかける医療従事者も含めて、多くの人を救うことにつながっている」と仰っていました。

赤ちゃんの誕生は大きな幸せですが、その反面に、失う怖さがつきまといます。ピジョンは命の無事を祈る人々に寄り添うからこそ、多くのユーザーに支持されるのだと感じました。(上林)

ピジョンの企業価値の向上



©Pigeon Corporation All Rights Reserved. Shinya Co. Ltd.

「投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year 2021」受賞のお知らせ

投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year 2021



「投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year 2021」で「結い 2101」は12位に選ばれました。

また「結い2101」は、アクティブ型投資信託の中で最上位になりました。

「結い 2101」に投票いただいた皆様、本企画の運営に関ったボランティアの皆様、ありがとうございました。

これからも「結い 2101」の魅力を高め、より一層応援いただける投資信託にしていきます。

「投信プロガーが選ぶ!

Fund of the Year」とは?

投資信託について一般投資家の目線でつねに考え、情報を集め、ブログを書いている投信プロガーの皆さんが、自分たちにとって本当によいと思える投資信託を投票で選び、それを広めることで「自分たちの手でよりよい投資環境をつくっていきましょう!」というイベントです。

<http://www.fundoftheyear.jp/2021>

特定口座年間取引報告書の交付について

交付対象は?

2021年内(受渡日基準)に、特定口座内で解約(換金)したお客様です。

※以下のお客様には交付されません

- ・2021年中に解約(換金)をおこなわなかったお客様
- ・一般口座および非課税口座で解約(換金)したお客様

交付方法は?

2022年1月初旬に以下の方法で交付済みです。

My鎌倉倶楽部をご利用のお客様※	電子交付
My鎌倉倶楽部をご利用でないお客様	郵送

※2021年中に口座閉鎖済みのお客様は、My鎌倉倶楽部をご利用の場合も、口座閉鎖月の翌月初に郵送しています。

「定期定額購入サービス」取引スケジュール

引落日 ^{※1}	入金日 ^{※2}	約定日 ^{※3}	受渡日 ^{※4}
2月28日	3月7日	3月8日	3月9日

- ※1 毎月27日(休日の場合は翌営業日)お客様が指定した金融機関の口座から購入額を引落します。
- ※2 引落日の5営業日後。収納代行会社を通して購入額が当社に入金されます。
- ※3 引落日の6営業日後。この日の基準価額で購入します。
- ※4 引落日の7営業日後。この日に取引報告書を交付します。

申込は鎌倉倶楽部へ お問合せください



- ✓ 少額から投資が可能
- ✓ 自動引落だから手間いらず
- ✓ 購入タイミングを分散



運用コラム

column

東証市場再編

4月4日に予定されている東京証券取引所（東証）の市場区分再編を前に、東証は上場企業が選択した新市場区分の一覧を公表しました。以下では、市場区分再編による「結い 2101」への影響について説明します。

結論からいうと、東証の市場区分再編にともなう影響は短期的にはゼロではないが、中長期的視点で見れば極めて軽微であるということです。

「結い 2101」で投資している上場企業の、新市場区分の選択状況をまとめたものが図表1となりますが、東証一部上場の投資先企業のうち5社がプライム市場ではなくスタンダード市場を選択しました。スタンダード市場を選択したウチヤマホールディングさんは、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の観点から新市場区分の移行先を検討し決議したと選択の理由を示しています。

また、プライム市場を選択した45社の投資先企業のうち、移行基準日時点（2021年6月30日）でプライム市場の上場基準を満たしておらず、「上場維持基準への適性に向けた計画書」を提出することでプライム市場に移行できる経過措置を選択した企業が図表2となります。

東証市場再編による「結い 2101」への直接的な影響として懸念されるのは、TOPIX（東証株価指数）の構成銘柄から除外されることによる株式需給の悪化です。これに対して東証は、TOPIXの構成銘柄について、市場区分にかかわらず継続採用する方針を示しています。ただし、流通株式時価総額※100億円未満の銘柄は「段階的ウエイト低減銘柄」に指定され、東証は2022年10月～2025年1月にかけて10回に分けて徐々に対象銘柄の構成比率を低下させることとしました。そのため、スタンダード市場を選択した投資先企業や、プライム市場に移行できる経過措置を選択した投資先企業で、かつ、流通株式時価総額が100億円未満であっても、1回ごとのウエイト低減による影響は軽微であると想定しています。

※発行済み株式のうち、主要株主や役員等が所有する株式、金融法人や事業法人等が所有する株式、自己株式を控除した、流動性が高いと判断される株式の時価。

図表1 投資先企業の新市場区分選択状況（基準日：2022年1月11日）

現上場区分	投資先企業数	新市場区分	投資先企業数
東証1部	50	プライム市場	45
東証2部	1	スタンダード市場	12
東証マザーズ	3	グロース市場	4
ジャスダック	7	計	61
計	61		

図表2 プライム市場に移行できる経過措置を選択した投資先企業

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金	計画期間
未充足の投資先企業/上場維持基準	20,000単位	100.0億円	35%	0.2億円	
アイ・ケイ・ケイホールディングス		96.5億円			2026年10月期
トレジャーファクトリー		56.0億円			2025年2月期
リブセンス		31.0億円		0.06億円	2026年12月期
ソウルアウト		65.0億円			2025年12月期

仮に株式需給の悪化により株価が短期的に下落したとしても、企業の業績が安定的に成長していれば、長期的には企業業績を反映して株価は回復すると考えています。

東証が市場改革に着手したのは、東証一部上場を果たしてしまえば、後は安泰であるかのような錯覚を産業界全体がもってしまい、持続的な企業価値向上の動機付けが弱かったことに問題意識をもってのことと思われます。しかしながら今回の市場再編では、東証一部上場企業の8割以上がプライム市場へ移行することとなり、市場改革自体が「骨抜き」になったとの声もあがっています。鎌倉投信は、プライム市場移行企業には上場維持基準やガバナンス基準を形式的に充足するだけではなく、自社の個性を再認識し、独自性をもって企業価値向上に取り組まれることを期待します。また、投資家や株主においても企業経営者と腹を割って意見交換できる信頼関係を構築し、価値向上を共創するパートナーとしての役割を果たしていくことが求められていると感じています。（資産運用部 五十嵐）

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供を目的としたもので、投資信託販売用（資料）ではありません。

<資産運用に関する注意事項>

投資信託のお申し込みの際には、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

- ◆ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。また、「結い 2101」は、投資者保護基金の保護対象でもありません。
- ◆ 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ◆ 本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ◆ 本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆ 本資料の利用権は、鎌倉投信に帰属します。
- ◆ 「結い 2101」をご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面および金融商品の販売等に関する法律に基づく重要事項の説明等の重要事項説明書をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、内容をよくお読みください。
- ◆ 「結い 2101」の投資信託説明書（交付目論見書）については、鎌倉投信までお問い合わせください。

<苦情処理措置および紛争解決措置について>

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（連絡先：0120-64-5005）を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社：金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第2293号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

